

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)



平成29年3月期 第2四半期
(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

補足説明資料
平成28年10月27日 (木)

平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

決算のポイント

- ① 「自治体セキュリティクラウド」「自治体セキュリティ強靱性対策」関連のニーズが飛躍的に拡大。案件の獲得が順調に推移
 - ・ 総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針を受け、各都道府県および各市区町村においてインターネットのセキュリティ強化対策が実施され、公共向け市場において主力製品である「i-FILTER（または D-SPA）」「m-FILTER」の売上が急拡大
- ② 官公庁向け「i-FILTER」の大規模新規案件獲得
 - ・ 巧妙化・高度化・複雑化する標的型攻撃等のリスクへの対策を求める官公庁等の組織で「i-FILTER」の大規模新規案件を獲得
- ③ 「FinalCode」が引き続き成長
 - ・ 「FinalCode Ver.5」により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが大量の顧客情報を取扱う企業・組織のニーズを捉え、販売が拡大
 - ・ 都道府県庁、市役所、町村役場をはじめとする公共団体が求める要望に対応した「FinalCode 自治体限定版」の導入が順調に拡大
- ④ 米国、アジア・太平洋地域拠点において受注を獲得
 - ・ 米国拠点FinalCode, Inc.、アジア・太平洋地域拠点FinalCode Asia Pacific Pte. Ltd.において、現地販売パートナーとの関係構築が進捗し、受注が出始める

平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **2,420** 百万円 (前期比 +484百万円 / +25.0%)

総務省の指針への対応を進めるお客様のニーズを捉え、主力製品である「i-FILTER」「m-FILTER」の売上が大幅に拡大

営業利益

営業利益： **789** 百万円 (前期比 +292百万円 / +58.9%)

国内人件費などの費用増があったものの、売上の拡大で吸収し、営業利益ベースでも大幅増益を果たす

経常利益

経常利益： **767** 百万円 (前期比 +267百万円 / +53.6%)

急速な円高の進行に伴う為替相場変動による影響も第1四半期並みに止まり前期比大幅増益を確保

親会社株主に帰属する
当期純利益

当期純利益： **454** 百万円 (前期比 +139百万円 / +44.5%)

海外子会社に対する先行投資による税金費用の負担増も、国内市場の売上拡大により吸収し、大幅増益となる

連結業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前期比	通期予想
売上高	1,935	2,420	+25.0%	4,600
売上総利益	1,496	1,922	+28.5%	3,652
販売管理費	999	1,132	+13.4%	2,252
営業利益	497	789	+58.9%	1,400
経常利益	499	767	+53.6%	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	314	454	+44.5%	870
ROE	7.3%	9.6%	—	—

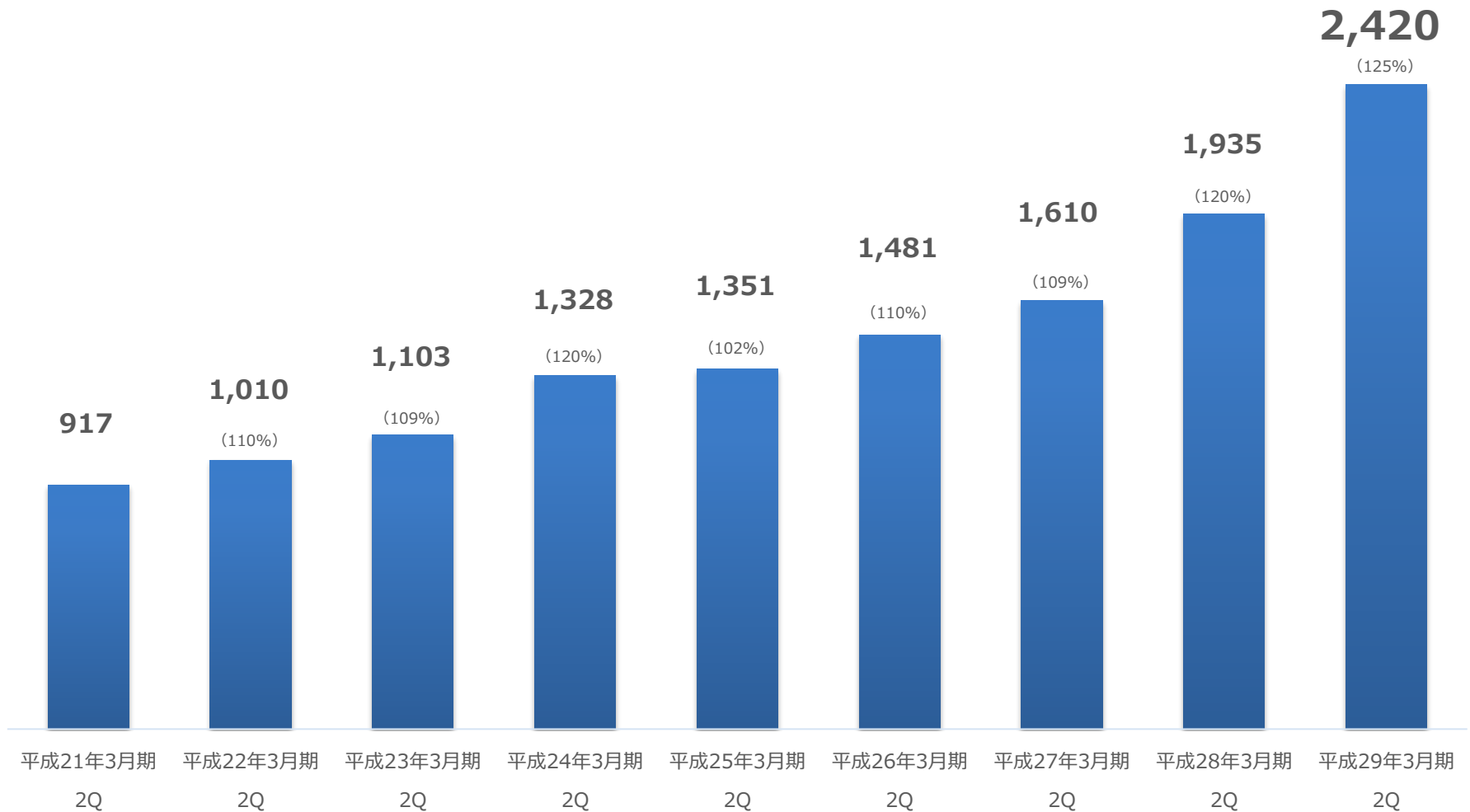
個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前期比	通期予想
売上高	1,933	2,465	+27.5%	4,598
売上総利益	1,532	1,938	+26.5%	3,555
販売管理費	875	1,001	+14.4%	1,843
営業利益	656	936	+42.7%	1,712
経常利益	659	918	+39.4%	1,712
当期純利益	437	619	+41.5%	1,182
ROE	9.7%	11.8%	—	—

引き続き過去最高の売上高を更新

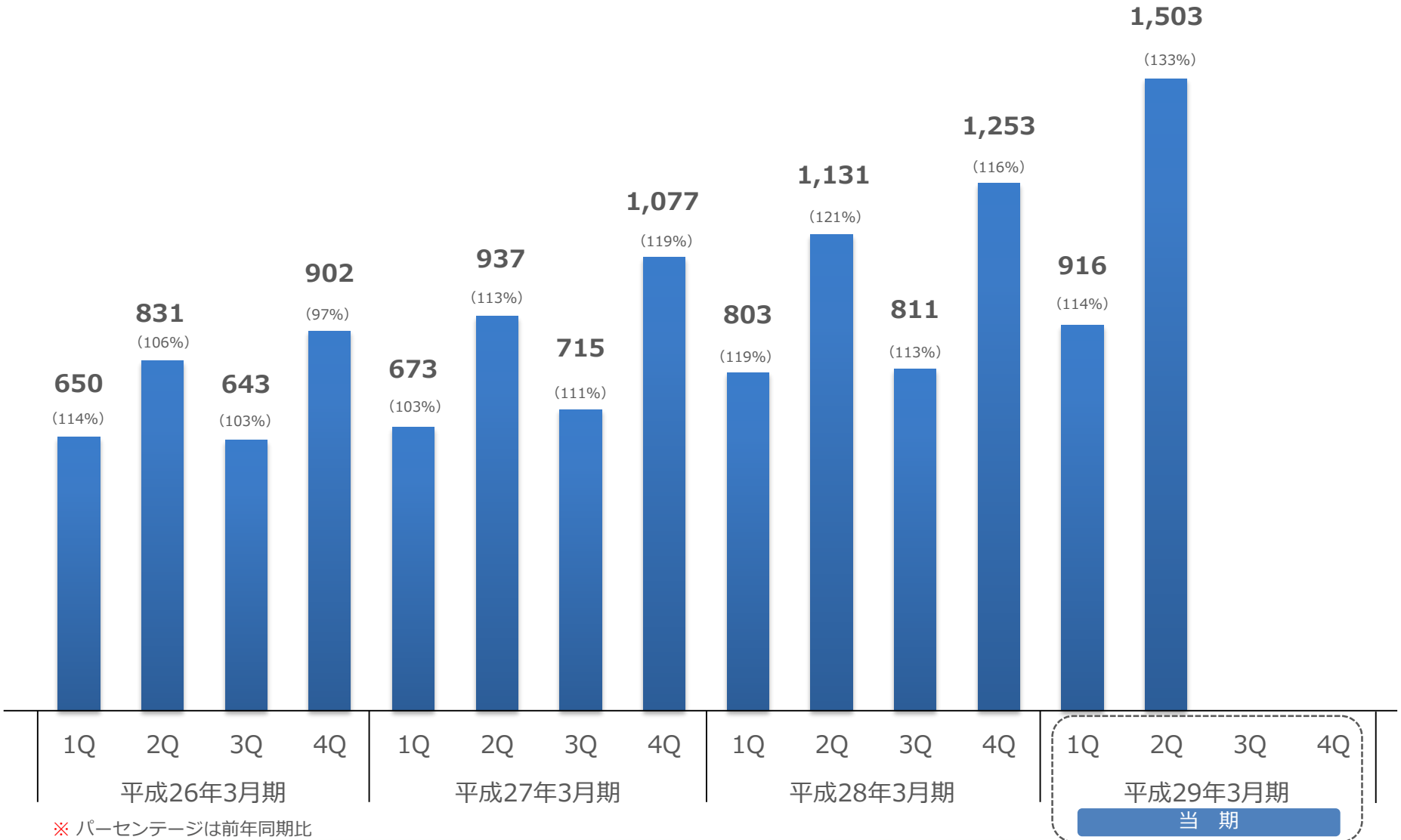
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

(単位：百万円)

第2四半期に売上が拡大し期首予算を大幅超過



※ パーセンテージは前年同期比

- 国内人員増等の影響により売上原価・販管費共に増加傾向なるも、
売上原価・販管費共に概ね期首予算通りの水準で推移

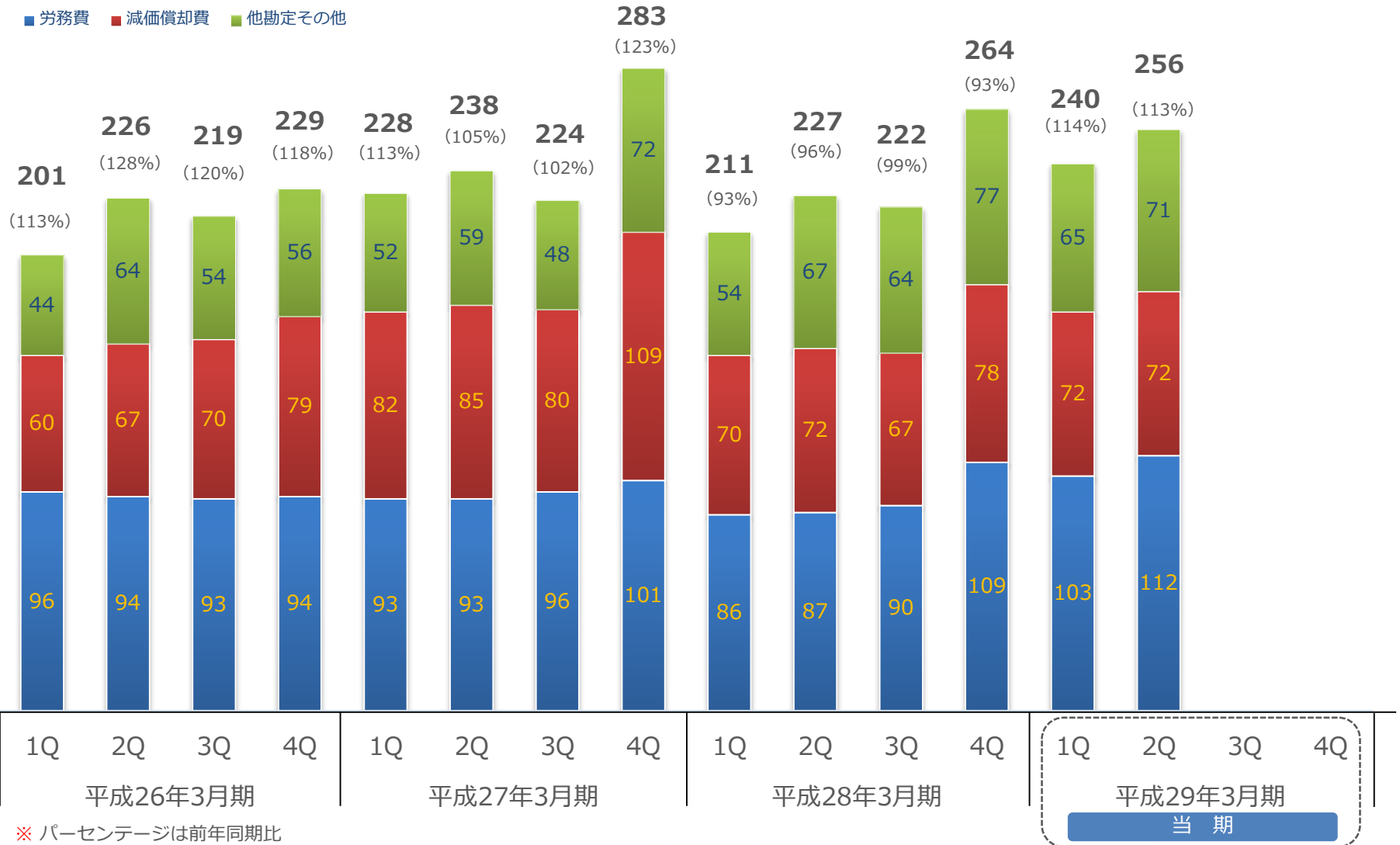
(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	439	497	+58	
労務費	174	215	+41	
減価償却費	142	144	+2	
他勘定振替 その他製造原価	122	137	+14	
販売費及び一般管理費	999	1,132	+133	
人件費	517	585	+68	内、国内人件費 +70M
広告宣伝費	139	174	+35	
その他	342	372	+29	サーバーリプレイス費用 国内採用費等

(単位：百万円)

売上原価については各内訳項目とも著変なし

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

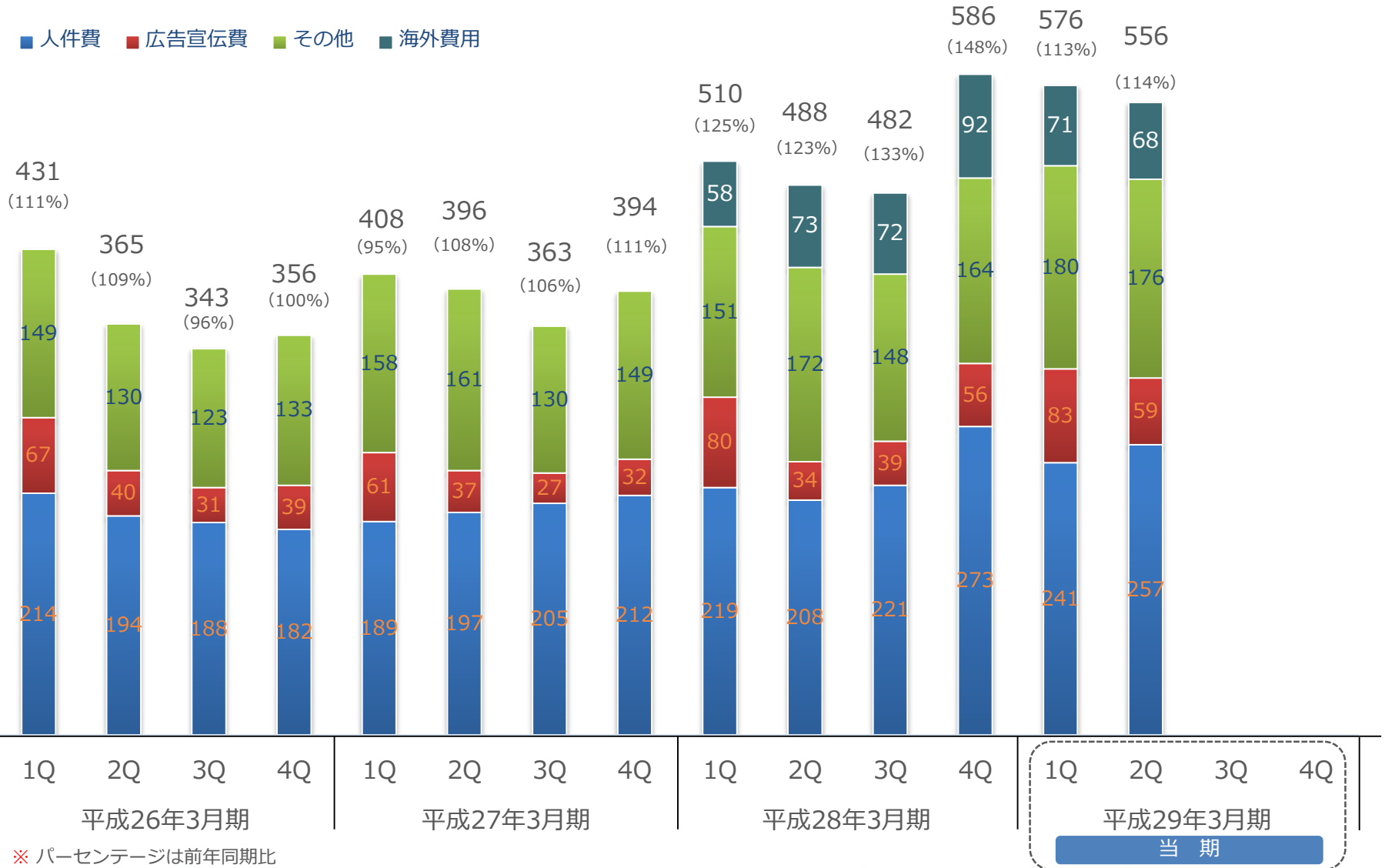


※ パーセンテージは前年同期比

販管費及び一般管理費は国内人員増により増加

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用



※ パーセンテージは前年同期比

平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 連結全体で +25.0% の成長
- 企業向け市場は +13.8% と引き続き順調に推移
- 公共向け市場は +45.2% と自治体セキュリティクラウド等で飛躍的に拡大
- 家庭向け市場においては、国内のパソコン出荷台数が大幅に減少する中、底固く推移

連結売上高

売上高： 2,420 百万円 (前期比 +484百万円 / +25.0%)

企業向け市場

売上高： 1,149 百万円 (前期比 +139百万円 / +13.8%)

公共向け市場

売上高： 1,096 百万円 (前期比 +341百万円 / +45.2%)

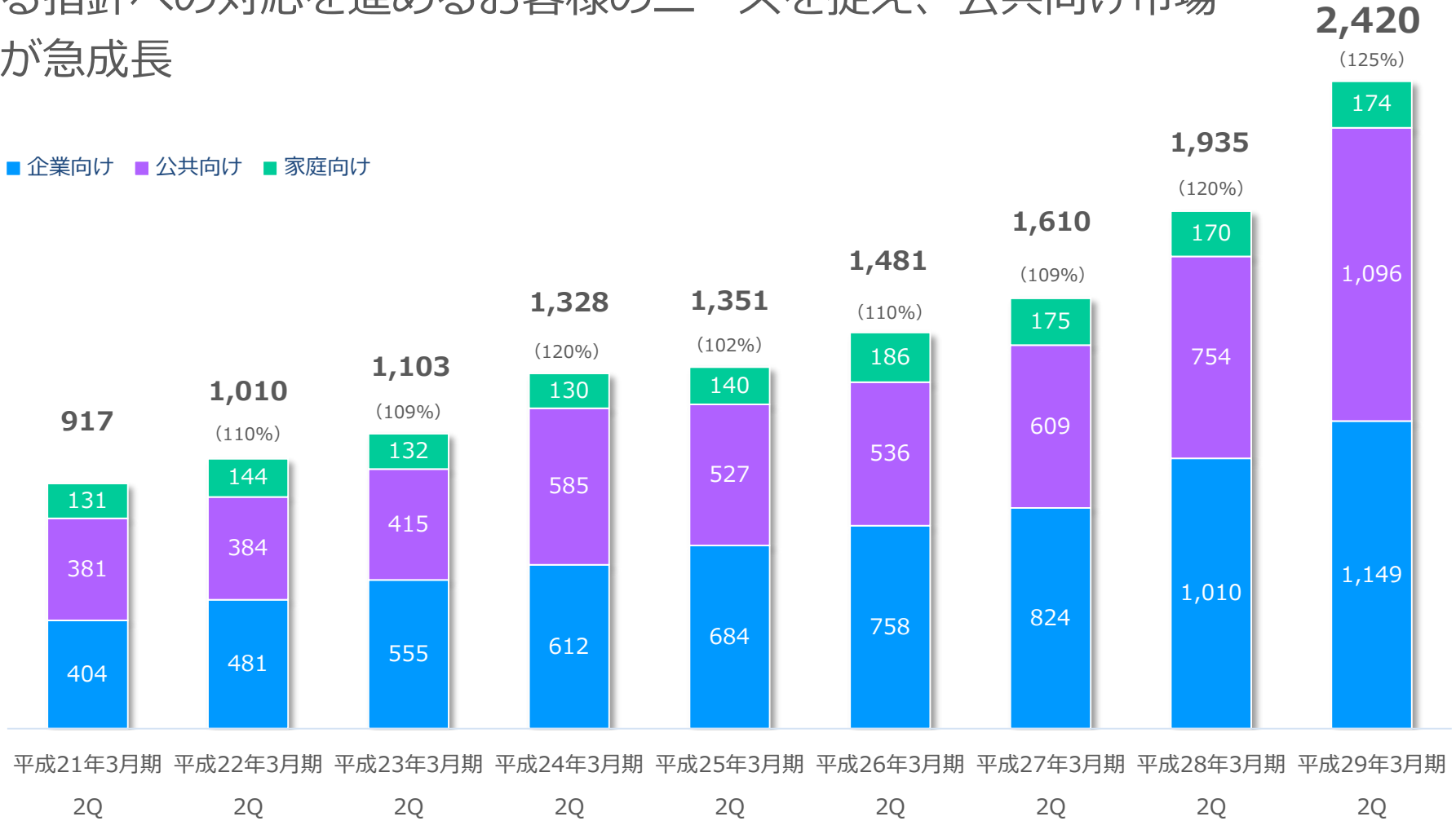
家庭向け市場

売上高： 174 百万円 (前期比 +4百万円 / +2.4%)

総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針への対応を進めるお客様のニーズを捉え、公共向け市場が急成長

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け

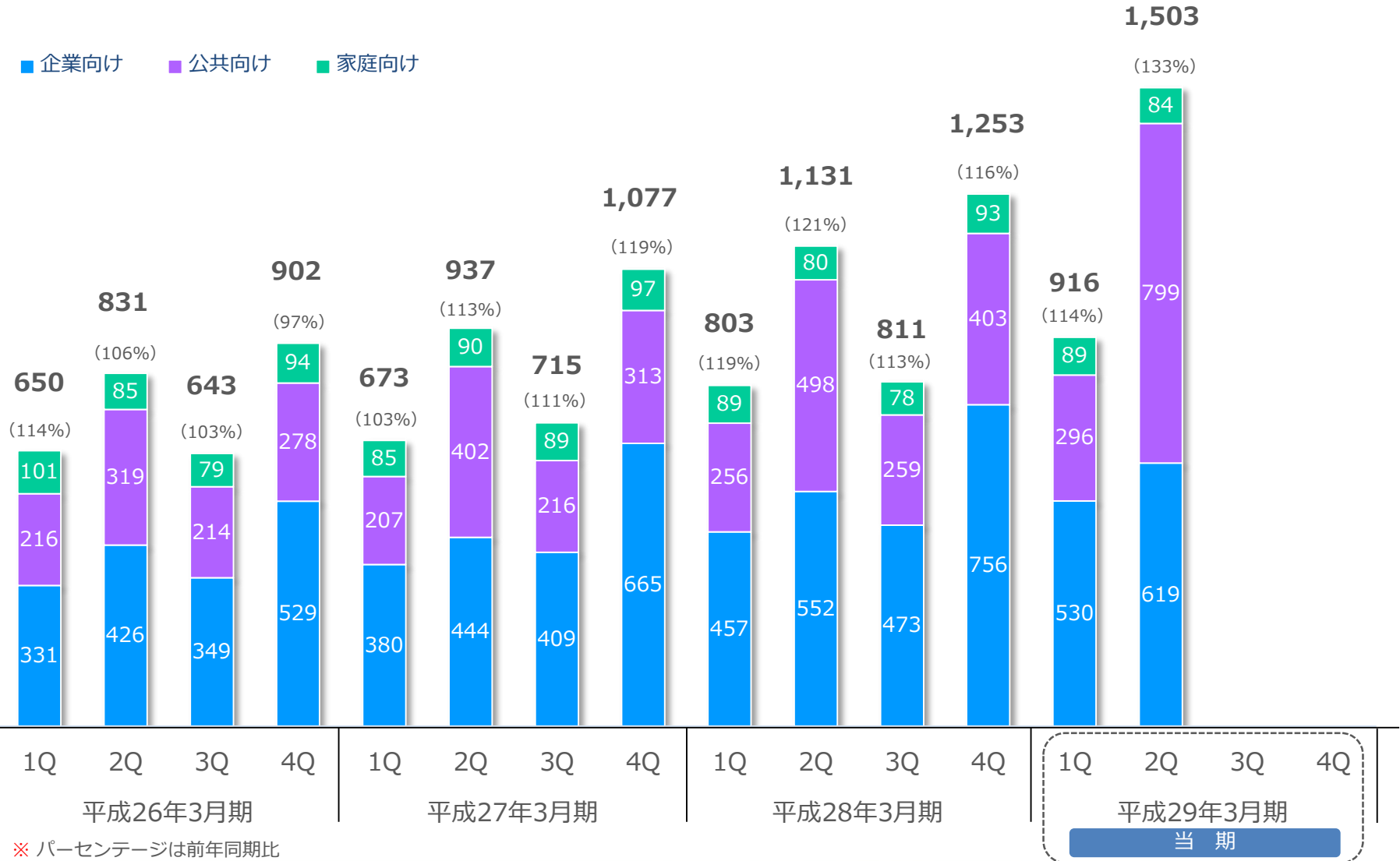


※ パーセンテージは前期比

公共向け市場における売上が急拡大し、全社業績を牽引

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比

平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 主力製品である「i-FILTER」「FinalCode」の販売が順調に推移
- 「m-FILTER」については前年同期に特需があったことを主要因として、対前年同期マイナスとなるも、案件の着実な積上げが進み、第3四半期以降の成長基盤を確保
- 大規模な顧客情報の流失事故が多発する中、「FinalCode Ver.5」により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが、大量の顧客情報を扱う企業等のニーズを捉え、着実に売上が伸張

i-FILTER + 12.6 %

m-FILTER ▲ 5.6 %

ID-SPA + 34.2 %

FINALCODE + 151.9 %



平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針を受け、各都道府県および各市区町村においてインターネットのセキュリティ強化対策が実行され、公共向け市場において主力製品である「i-FILTER（または D-SPA）」「m-FILTER」の売上が急拡大
- 都道府県庁、市役所、町村役場をはじめとする公共団体が求める要望に対応した「FinalCode 自治体限定版」の導入が拡大

i-FILTER + 36.0 %

m-FILTER + 111.7 %

D-SPA + 79.6 %

FINALCODE + 609.3 %



平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 引き続き携帯電話事業者やMVNO事業者等と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」のモバイル端末版の拡販と協業拡大を推進
- パソコンの国内出荷台数減少は継続しているものの、OEMによる販売、複数年パッケージ製品の出荷が好調であったことなどを主要因としてパソコン版の売上が底固く推移
- 1つのシリアルIDで複数のOSでの利用が可能な「i-フィルター for マルチデバイス」の販売が伸張

パソコン版

▲0.8%

ゲーム機/TV版

▲0.6%

モバイル端末版

+11.8%

i-フィルター



平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

平成29年3月期 通期業績予想

平成29年3月期 業績予想について

当第2四半期累計期間の業績（連結・個別）につきましては、総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針を受け、各都道府県および各市区町村においてインターネットのセキュリティ強化対策が実施され、公共向け市場において主力製品である「i-FILTER（または D-SPA）」「m-FILTER」に対するニーズが飛躍的に拡大し、案件の獲得が順調に推移している事から売上が大幅に伸張しております。そのため、売上高、各利益が期首予想を上回る結果となりました。

平成29年3月期通期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）につきましては、特に公共向け市場を中心として引き続き良好な環境が継続することが予想され、現在精査を進めており、確定次第公表する予定であります。

平成29年3月期 連結業績予想

- 国内を中心に平成28年3月期の市場環境が継続すると想定
- 海外については、案件は着実に積み上がるも計画上是保守的に見込む
- 海外投資関係も前年比微増に留まるため、利益成長が加速する見込み

項目	平成28年3月期実績	平成29年3月期計画	成長率/増減率
売上高	4,000 百万円	4,600 百万円	15.0 %
売上総利益	3,074 百万円	3,652 百万円	18.8 %
販売管理費	2,067 百万円	2,252 百万円	9.0 %
営業利益	1,006 百万円	1,400 百万円	39.1 %
経常利益	994 百万円	1,400 百万円	40.8 %
親会社株主に帰属する当期純利益	545 百万円	870 百万円	59.5 %
1株当たり配当金	15 円	20 円	—

平成29年3月期 個別業績予想

- 国内市場については平成28年3月期の好環境が継続すると想定

項目	平成28年3月期実績	平成29年3月期計画	成長率/増減率
売上高	4,018 百万円	4,598 百万円	14.4 %
売上総利益	3,123 百万円	3,555 百万円	13.8 %
販売管理費	1,788 百万円	1,843 百万円	3.0 %
営業利益	1,335 百万円	1,712 百万円	28.3 %
経常利益	1,328 百万円	1,712 百万円	28.9 %
当期純利益	840 百万円	1,182 百万円	40.7 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成29年3月期の目標配当性向：連結当期純利益の32.0%

平成29年3月期年間剰余金配当予想額：1株当たり20.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成28年3月期	7.00	8.00	15.00	38.2%
平成29年3月期	10.00			
平成29年3月期（予想）		10.00	20.00	32.0%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-